# 第72期中間報告書

まいしさ、ふれあい。

平成30年4月1日~平成30年9月30日

証券コード:2281







株主の皆様にはますますご清栄のことと お慶び申し上げます。

また、平素より格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、平成30年4月1日から平成30年9月30日までの当社グループの経営成績につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜ります よう宜しくお願い申し上げます。

平成30年12月

代表取締役社長 千葉尚登

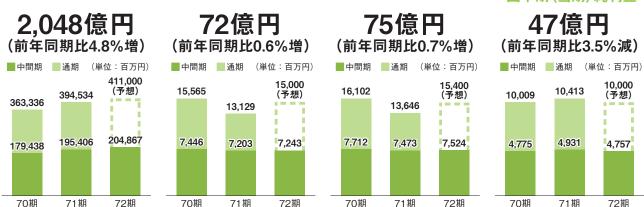
### 連結財務ハイライト

■売上高

■営業利益

■経常利益

■親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



※予想数値は、11月5日決算発表時で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、事業環境などの変動により、予想とは異なることがあることをご承知おきください。

1

### 上半期営業の概況



### 上半期営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調を続けているものの、原材料費や人手不足からの人件費の上昇を販売価格に転嫁できないこと、全国で発生した自然災害による消費減退の影響から、足元の景況感は悪化しています。消費者は値ごろ感を意識して商品を選ぶ傾向が根強く、付加価値を乗せなければ価格転嫁は難しい状況が要因となっています。また、米中貿易摩擦も先が見通せない状況が続き、輸出企業にとっての懸念材料となり、先行きの企業業績や世界経済に不透明さを与えています。

当業界におきましては、豚肉の国内販売については国産豚肉の価格が乱高下し、高値を嫌い輸入豚肉にシフトした結果、シェアで国産豚肉を上回る変化の激しい状況となっていますが、加工食品の輸入原材料等については、現地豚肉生産が順調に推移したことから、比較的安定した調達をすることができました。鶏肉については、国産鶏肉は生産増から相場は安定しているものの、輸入鶏肉については、ブラジルのストライキにより輸入量が縮小し、価格が上昇しましたが、現在では落ち着きを取り戻している状況となっています。また、景気に明るさはでてきているものの、有期雇用労働者の増加や賃金上昇の鈍さから消費者の低価格志向は強く、企業間の競争も激化し、事業環境は厳しいものとなりました。

このような状況のなか、当社グループは「健康で豊かな食生活を創造するために安全・安心な商品を提供し、社会と食文化の発展に貢献していく」という基本的な考えのもと、中期経営計画の目標の達成に向けて、「事業領域の拡大と収益基盤の更なる強化」と「成長市場に向けた事業創造とグローバル展開」を基本方針と位置づけ、諸施策を講じてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は2,048億67百万円(前年同期比4.8%増)、営業利益は72億43百万円(前年同期比0.6%増)、経常利益は75億24百万円(前年同期比0.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益47億57百万円(前年同期比3.5%減)となりました。



### セグメント概況

#### ●加工食品事業本部

#### 〈ハム・ソーセージ部門〉

「香薫®あらびきポークウインナー」をはじめとする重点商品を中心とした販売活動や同時に推進しているLINEや東京ディズニーシー®貸切プレシャスナイトへのご招待キャンペーン、ハッピーハロウィーンキャンペーン等の販売促進政策は、販売数量拡大に大きく貢献しました。また数量拡大は工場の生産性向上にも寄与するとともに、生産工場においても改革・改善を継続実施し、人時生産性向上やユーティリティーコスト削減などを推進し、コスト競争力を着実に高めてまいりました。

ハム・ソーセージ部門においては、売上高、販売数量はともに前年同期を上回りシェア を伸ばすことができました。



#### 〈加工食品部門〉

コンシューマー商品ではプリマヘルシーの「サラダチキン」や「スパイシースティック」、「絶品点心春巻」などの商品を拡販するとともに、コンビニエンスストアを中心にプライベート商品についても積極的販売に取り組みましたが、販売競争の激化から、利益面においては厳しい状況が続きました。

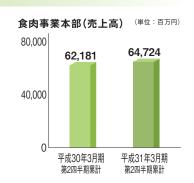
コンビニエンスストア向けのベンダー事業については、得意先様の販売増および納店数の拡大化を背景に売上は大きく拡大し、利益面においても同様に前年同期を上回る結果になりました。

結果、加工食品事業本部における売上高は1,399億3百万円(前年同期比5.2%増)となり、セグメント利益は62億86百万円(前年同期比8.9%減)となりました。

#### ●食肉事業本部

国際的な仕入れ競争激化により、食肉の仕入れ環境は極めて厳しいものとなりましたが、「オレガノビーフ」や「ハーブ三元豚」、「米どり」などのオリジナルブランド商品の拡販や得意先の新規・深耕開拓を積極的に行い、食肉の売上拡大に努めたこと、および生産事業の拡大を目指したM&Aを実施したことが売上の増加に貢献しました。利益面においても、営業部隊の収益管理の徹底と拡充した生産事業の連結取り込み効果により、前年同期から伸ばすことができました。

結果、食肉事業本部における売上高は、647億24百万円(前年同期比4.1%増)となり、セグメント利益は8億57百万円(前年同期比317.8%増)となりました。



### 株式に関するお知らせ



### 株式併合および単元株式の変更

当社は、全国証券取引所の売買単位の集約計画趣旨を尊重し、2018年10月1日付にて、当社普通株式 の売買単位である単元株式数を、現在の1.000株から100株に変更いたしました。

同時に、普通株式5株を1株の割合をもって併合いたしました。

なお、株式併合の結果、1株に満たない端数株式が生じた場合には、会社法の定めに基づき一括して処分 し、その処分代金を端数の生じた株主様に対して、端数の割合に応じて分配いたします。

### 単元株式数の変更

1.000株から100株に変更

### 株式併合

5株を1株に併合

### 株主優待

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するととも に、当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々に 長期的に当社の株式を保有していただき、当社の事業 に対するご理解をより深めていただくことを目的に、 株主優待制度を導入しております。本年も自社製品 3.000円相当を11月下旬に発送させていただきました。

### 対象となる 株 主 様

2018年9月30日現在の株主名簿に記載された、 1単元(1.000株)以上保有されている株主様 2019年以降の株主優待は、株式併合に伴い、現在の株主様 への価値を維持するために、200株以上保有されている株 主様が対象となります。



イメージ

### 中間配当

当社は、株主の皆様への利益還元の機会を充実させることを目的に9月30日 を基準日とする中間配当を実施しております。

当期の中間配当は、1株当たり4円となっております。 【当期の効力発生日は2018年12月3日】

## 連結財務諸表



連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	期別	<b>前期末</b> 平成30年3月31日現在	<b>当第2四半期末</b> 平成30年9月30日現在
資産の部			
流動資産		79,329	91,315
現金及び預金		13,383	18,687
受取手形及び売掛金		43,848	47,822
商品及び製品		15,396	17,130
仕掛品		2,840	3,776
原材料及び貯蔵品		2,020	2,342
その他		1,841	1,558
貸倒引当金		△1	△1
固定資産		110,422	116,757
有形固定資産		89,724	94,344
建物及び構築物(純額)		36,870	40,220
土地		26,683	26,459
その他(純額)		26,170	27,664
無形固定資産		1,155	2,008
投資その他の資産		19,542	20,404
投資有価証券		6,630	6,559
退職給付に係る資産		9,589	9,789
その他		3,337	4,077
貸倒引当金		△14	△21
資産合計		189,751	208,073

期別科目	<b>前期末</b> 平成30年3月31日現在	当第2四半期末 平成30年9月30日現在
負債の部		
流動負債	64,630	78,558
支払手形及び買掛金	39,705	53,966
短期借入金	307	263
1年内返済予定の長期借入金	5,168	5,008
未払法人税等	3,193	2,947
賞与引当金	1,253	1,488
その他	15,001	14,884
固定負債	35,846	36,746
長期借入金	23,916	25,139
役員株式給付引当金	_	6
退職給付に係る負債	4,502	4,569
資産除去債務	359	361
その他	7,068	6,670
負債合計	100,477	115,305
純資産の部		
株主資本	74,714	77,684
資本金	7,908	7,908
資本剰余金	8,568	8,568
利益剰余金	58,394	61,585
自己株式	△157	△377
その他の包括利益累計額	6,466	6,569
その他有価証券評価差額金	2,332	2,344
繰延ヘッジ損益	△18	42
土地再評価差額金	2,461	2,518
為替換算調整勘定	64	153
退職給付に係る調整累計額	1,626	1,510
非支配株主持分	8,094	8,513
純資産合計	89,274	92,767
負債純資産合計	189,751	208,073





連結損益計算書	(	単位:百万円)	連結キャッシュ・フロー計算書	ı	(単位:百万円)
1 P	<b>丁第2四半期</b> 平成29年4月1日 平成29年9月30日	<b>当第2四半期</b> 自平成30年4月1日 至平成30年9月30日	期別科目	前第2四半期 自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	<b>当第2四半期</b> 自平成30年4月1日 至平成30年9月30日
売上高	195,406	204,867	営業活動による キャッシュ・フロー		
売上原価	164,768	172,892		13,124	17,331
売上総利益	30,637	31,974	投資活動による キャッシュ・フロー		
販売費及び一般管理費	23,433	24,730		△8,750	△9,836
営業利益	7,203	7,243			
営業外収益	415	539	財務活動による キャッシュ・フロー	△2,854	△2,326
営業外費用	146	259			
経常利益	7,473	7,524	現金及び現金同等物に係る 換算差額	13	12
特別利益	303	375			
特別損失	390	101	現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	1,533	5,181
税金等調整前四半期純利益	7,386	7,797	-		
法人税等	2,331	2,623	現金及び現金同等物の 期首残高	19,468	12,168
四半期純利益	5,055	5,174	씨타시티		
非支配株主に帰属する四半期純利益	124	417	現金及び現金同等物の	21,002	17,350
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,931	4,757	四半期末残高	_ · ,• • =	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,



### 業容の拡大

### 茨城工場 新ハム・ベーコンプラント建設進捗

2019年春の竣工を目指し、茨城工場 新ハム・ベーコンプラントの建設が進んでおります。 今後、業容の更なる拡大に向けて、品質および生産性の更なる向上に寄与してまいります。



茨城工場 新ハム・ベーコンプラント上半期進捗

## 東京ディズニーシー®貸切イベントご招待

### ロジッグに 春のおいしさ、ふれあい。キャンペーン





「春のおいしさ、ふれあい。キャンペーン」の抽選で当選されたお客様を東京ディズニーシー®貸切イベント「プレシャスナイト」にご招待いたしました。(2018年10月12日)

今後も東京ディズニーランド®、東京ディズニーシー®のオフィシャルスポンサーであることを活かし、様々なキャンペーンを展開してまいります。



### CM

### 香薫新CM放映開始

当社は、イメージキャラクターに土屋太鳳 さんを起用し、「香薫あらびきポークウインナー」の新CMの放映を(9月21日より) 開始いたしました。

今後、土屋太鳳さんには、香薫CM以外にも 様々な販売促進ツールなどにご登場いただく 予定です。



### LINE

## 「あらびき星人 ソップリン®」LINEスタンプ販売開始

~収益は国連WFP食糧支援活動に寄付~

LINEで展開中のLINE公式アカウントキャラクター「あらびき星人 ソップリン®」のLINEスタンプの販売を開始しました。

当社は2015年より当社および商品の認知度向上を目的に、LINEによる広告宣伝活動を展開してまいりました。

これまでのスタンプは使用制限あり。 今回は24種1セット120円で使用制限なし。





# 株式情報(単体)

(平成30年9月30日現在)

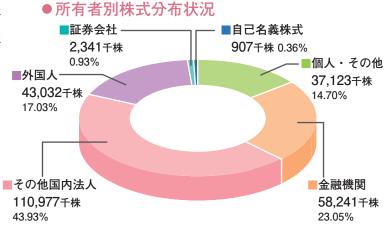
■ 発行可能株式総数 350,000,000株

■発行済株式総数 252,621,998株

(自己株式907,633株)

■株主数

19.300名



### ●大株主

大 株 主 名	持株数(千株)	持株比率 (%)
伊藤忠商事株式会社*	100,241	39.68
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,723	6.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,308	4.08
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 380578	6,366	2.52
学校法人竹岸学園	4,541	1.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	4,109	1.63
株式会社サンショク	4,000	1.58
農林中央金庫	3,565	1.41
株式会社みずほ銀行	2,832	1.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,752	1.09

<sup>(</sup>注)\*印の株主は、発行済株式(自己株式を除く。)の総数の10分の1以上の株式を保有しています。



# 会社概要

#### (平成30年9月30日現在)

### ■会社概要

号 プリマハム株式会社 Prima Meat Packers, Ltd.

本 社 〒140-8529 東京都品川区東品川4丁目12番2号 TEL:03-6386-1800

代 者 代表取締役社長 千葉 尚登

業内容 ハム・ソーセージ、食肉および 加工食品の製造販売

創 業 昭和6(1931)年9月1日

設 立 昭和23(1948)年7月9日

資 金 79億8百万円

従 業 員 数 1.854名

支 等 東北支店(宮城)・関東支店(東京)・中部支店(愛知)・ 関西支店(大阪)・中四国支店(広島)・九州支店(福岡)

I 場 北海道工場·茨城工場·三重工場·鹿児島工場

物流 センター 関東物流センター(茨城)・三重物流センター・ 福岡物流センター

研究機関基礎研究所(茨城)・生産技術開発部(茨城)

グループ会社 35社

### ■役員

代表取締役会長	松井鉄地	1
代表取締役社長	千葉尚登	K I
常務取締役	矢 野 雅 彦	
常務取締役	内山高弧	4
取 締 役	佐々木 久 志	<u>,</u>
取 締 役	新村融 一	-
取 締 役	鈴 木 英 文	
取 締 役(社外)	山 下 丈	-
取 締 役(社外)	野 尻	=
常勤監査役(社外)	奥平博之	<u>,</u>
常勤監査役(社外)	佐藤功 -	-
監 査 役(社外)	京田調	ŧ

### 株主メモ

事業年度

4月1日から翌年の3月31日まで

■ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

基準日

定時株主総会の議決権3月31日期末配当3月31日中間配当9月30日

その他、必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

■ 単元株式数

100株

■ 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

■ お問い合わせ先・郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されまし た株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託 銀行株式会社にお申し出ください。 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

・未払配当金の支払について 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し 出ください。

電話 0120-782-031(フリーダイヤル)

■ 公告の方法

電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行います。







TZ-60

※株主優待商品は対象外です。

### フリマハム株式会社

東京都品川区東品川4丁目12番2号 品川シーサイドウエストタワー 〒140-8529 電話 03-6386-1800

https://www.primaham.co.jp/



TZ-41